

# We電子印

## 押印ツール操作マニュアル



# 目次

最初にお使いになる時にお読み下さい	3
電子印を押印するには	4
押印に関する各機能	
① 画面を移動させる	5
② 押印情報(暗号化された情報)を記入する	6
③ 印影の色を変える	7
④ 印影を回転させる	8
⑤ 日付スタンプの書式を変える	9
⑥ 印影のサイズを変える	10
⑦ 記録する押印(証明)情報を選ぶ	11
⑧ クリップボードに印影をコピーする	12
メニューを開く	
① パスワードを設定・解除する	13
② 押印記録(ログ)を参照する	14
③ 押印記録(ログ)の保存先を変更する	14
④ 使用する印影の設定(あまり使わない印影を隠す)と追加	15
⑤ アンインストールする	16
⑥ バージョン情報を見る	16
印影の照明情報を参照する	17

## 最初にお使いになる時にお読み下さい

We 電子印をお使い頂きありがとうございます。

最初に We 電子印をお使いになる際は、まず、販売元より提供された CD-ROM や USB メモリをパソコンにセットしてください。

**【重要】** ダウンロードならびにメール添付にて入手されたお客様は、大切なものですので、必ず CD-ROM や USB メモリに保管して下さい。 アンインストール時に必要になります。

### ■ インストールする



「We 電子印」押印ツールおよび電子印データは、各「名前フォルダ」にそれぞれに収納されています。



各ご担当のパソコンからご使用者の「名前フォルダ」にある「WeEStamp.exe」を選択してダブルクリックして下さい。



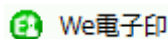
すると、左図のような画面が表示されます。



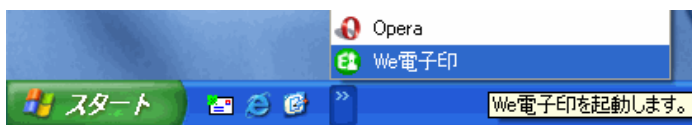
お使いはじめに必要な操作はこれだけです。インストール直後は一旦、終了して下さい。



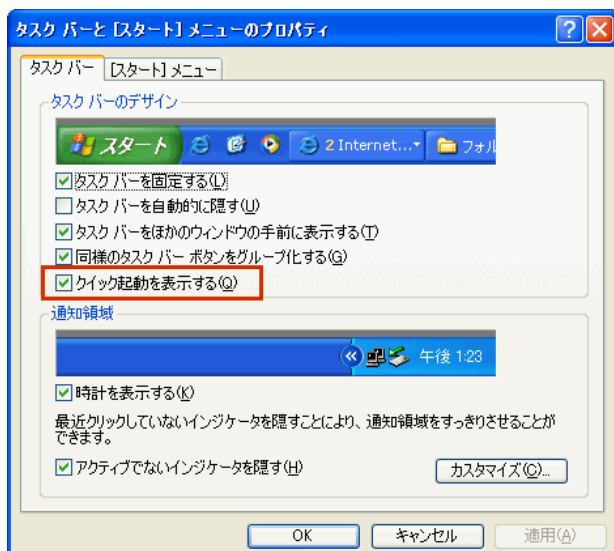
次回からはいつも、クイック起動からこのアイコンをクリックして起動して下さい。



### 【参照】 クイック起動が見つからない場合



⇒ ●クイック起動のある場所  
3個まで表示されます。  
現れない場合は、>>をクリックします。  
ドラッグで任意の位置へ移動できます。



●クイック起動が現れない場合は、  
タスクバーの上で右クリックして  
「プロパティ」を開いて、  
「 クイック起動を表示する」  
にチェックを入れて下さい。

## 電子印を押印するには

We 電子印で電子印を押印する手順を説明します(ここではワードに押印する例を示します)。

We 電子印をクイック起動のアイコンをクリックして起動すると、左下図の画面が表示されます。  
そして、既に起動しているワードに、表紙されている印影をドラッグアンドドロップするだけです。



さらに、それだけでなく、印影に暗号化された情報を含ませたり、色を変えたり、回転をさせたりといったことができます。

これらの方法については、下記を参照してください。

- ・画面を移動させる
- ・使用できる全ての印影を見る
- ・押印情報(暗号化された情報)を記入する
- ・印影の色を変える
- ・印影を回転させる
- ・日付スタンプの書式を変える
- ・印影を大きく貼り付ける
- ・記録する押印情報を選ぶ
- ・パスワードを設定・解除する
- ・押印記録(ログ)を参照する
- ・押印ログの保存先を変更する
- ・使用する印影の設定(あまり使わない印影を隠す)
- ・アンインストールする

※ドロップ先のアプリケーションによっては、We 電子印の印影の大きさを正確に取得できず、印影が粗くなる場合があります。そのようなときは、CTRL キーを押しながらドラッグアンドドロップをして下さい。改善される場合があります。

※セキュリティのため、ドラッグアンドドロップによる貼り付け操作は5回までしか行えません(クリップボードコピーとあわせて5回)。

## 押印に関する各機能

### 画面を移動させる



左図の画面を移動させるには「We 電子印」のロゴが表示されている部分をドラッグ & ドロップしてください。

なお、移動した場所は、次回起動時にも再現されます。



### 押印できる印影の表示をする



左図の画面では、4つまでの印影が表示されています。

4つ以上の印影をお使いの場合に、5つ目以降の印影を表示させたい場合には、

↓このボタンをクリックします。



すると、印影は1つずつ、上にずれる(スクロール)します。

また逆に、↑このボタンをクリックすると、上にスクロールします。



このようにして、自由にスクロールをして、目的の印影を表示させてください。

※表示は直前に使用した印影が、上部に表示されますので使用頻度の高いものは、常に上部に表示されるようになります。



## 押印情報(暗号化された情報)を記入する

いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。



ここで、押印するドキュメントの文書番号やタイトルなどを記入した後、ドラッグ&ドロップで押印すると、その印影の見た目には現れない場所に、入力した情報が暗号化されて保存されます。

※名前の項目は、セキュリティのため変更は出来ません。

※日付の項目は、日付スタンプで且つ、日付の編集が許可されたタイプの印影でなければ入力できません。

※日付の編集が許可されたタイプの印影では、「TODAY」ボタンをクリックすることで今日の日付がセットできます。

## 印影の色を変える

まず、いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。



ここで、上図の中での赤線で囲われた部分をクリックします。

すると、下図の画面が表示されます。



ここから、お好みの色をクリックすると、印影の色が変わります。

「その他の色」をクリックすると、その他の色の中から自由に選択が可能です。



## 印影を回転させる

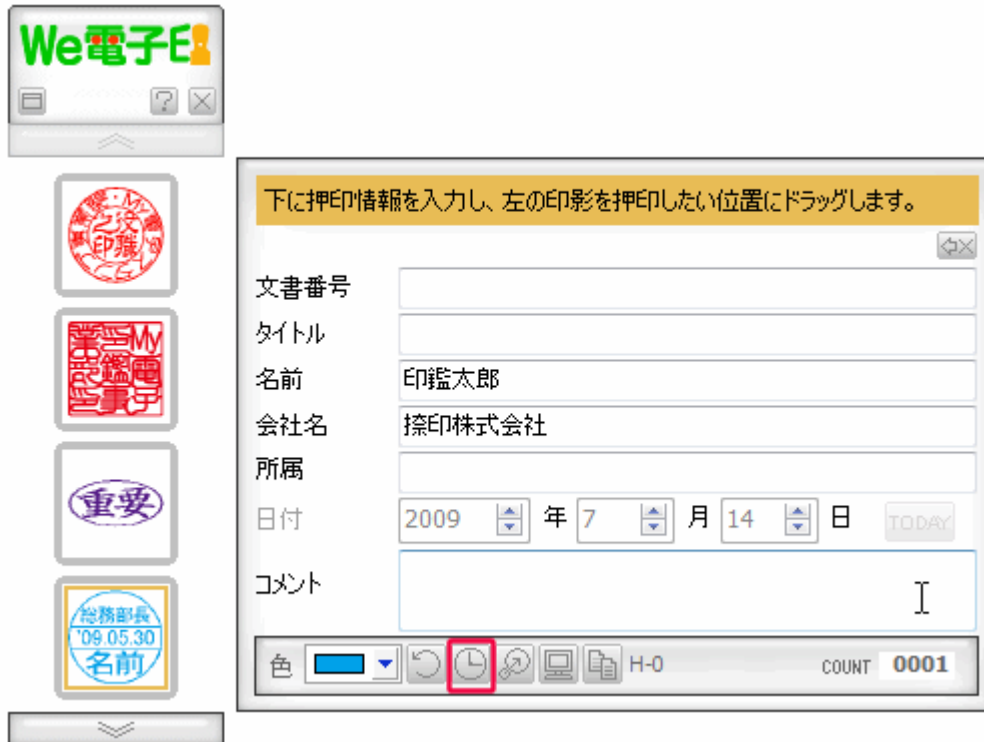
いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。



ここで、上図の中の赤線で囲われた部分をクリックします。  
すると、90° 単位で時計回りに印影が回転します。

## 日付スタンプの書式を変える

いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。  
ここで、上図の中の赤線で囲われた部分をクリックします。  
すると、下図の画面が現れます(この画面を閉じるには、もう一度ボタンをクリックします)。



ここで、下記の各項目を設定すると、日付スタンプの書式がさまざまに変更できます。

形式	'09.05.30' ▼
サイズ	2.30 ▲▼ mm
フォント	MS UI Gothic ▼

### ・形式

日付の書式を選びます。

### ・サイズ

日付部分の文字の大きさを指定します。

文字の高さを mm で指定して下さい。

### ・フォント

日付部分の文字のフォント(書体)を選択します。

押印したパソコンに入っているフォントならばどれもお使いになれます。

そのフォントが押印した電子文書を見るパソコンに入っていなくても問題はありません。

※日付の項目は、日付スタンプで且つ、日付の編集が許可されたタイプの印影でなければ入力できません。

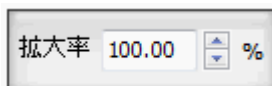
※日付の編集が許可されたタイプの印影では、「TODAY」ボタンをクリックすることで今日の日付セットできます。

## 印影を大きく貼り付け

いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。  
ここで、上図の中の赤線で囲われた部分をクリックします。



すると、下図の画面が現れます(この画面を閉じるには、もう一度ボタンをクリックします)。

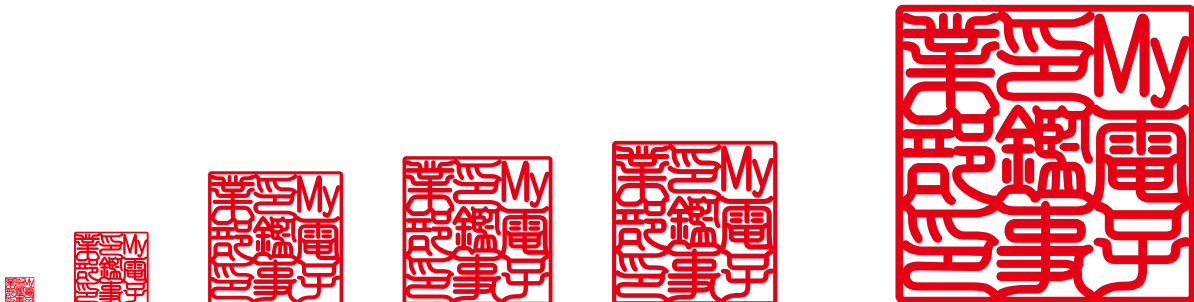


拡大率を変更すると、ドキュメントに押印した際に、既定の大きさから拡大/縮小されます。

■ 縮小/拡大しても、いつでも鮮明な印影サイズの調整ができます。

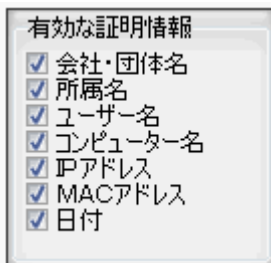
【一例】

20%    50%    90%    100%【原寸】    110%    200%



## 記録する押印(証明)情報を選ぶ

いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。  
ここで、上図の中の赤線で囲われた部分をクリックします。  
すると、下図の画面が現れます(この画面を閉じるには、もう一度ボタンをクリックします)。



ここでは、印影に記録される証明情報の項目を選びます。

ユーザー名、コンピュータ名、IP アドレス、MAC アドレス、日付は、自動的にご使用のパソコンから採取し記録しますが、会社・団体名、所属名は、入力する必要があります。

※IP アドレスはパソコンのネットワークボードから取得できるもので、ローカルのアドレスです。  
必ずしもグローバル IP アドレスであるとは限りませんのでご注意ください。

## クリップボードに印影をコピーする

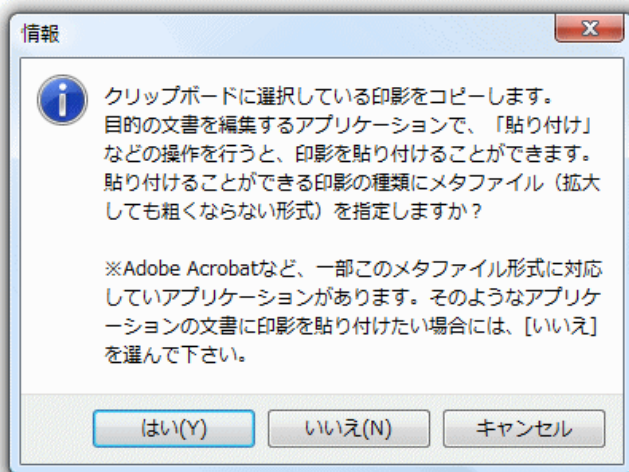
いずれかの印影をクリックすると、下図のように、画面が広がり、パネルが表示されます。



ここで、上図の中の赤線で囲われた部分をクリックします。

すると、先ほどクリックした印影がクリップボードにコピーされます。多くのアプリケーションは「貼り付け(ペースト)」機能を備えていますので、この機能を利用して、印影を貼り付けることができます。

※このボタンをクリックした際、下記の画面が表示されます。



ここで「はい」をクリックすると、We 電子印は印影をメタファイル形式でクリップボードにコピーします。多くのアプリケーションはメタファイル形式をサポートしており、綺麗な印影を貼り付けることができます。

しかし、メタファイル形式をサポートしていないアプリケーションもあります。このようなアプリケーションで貼り付け操作を行うと、印影が粗くなったり、何も貼り付かなかったりします。このような場合には、ここで「いいえ」を選んで下さい。ビットマップ形式で印影をクリップボードにコピーします。

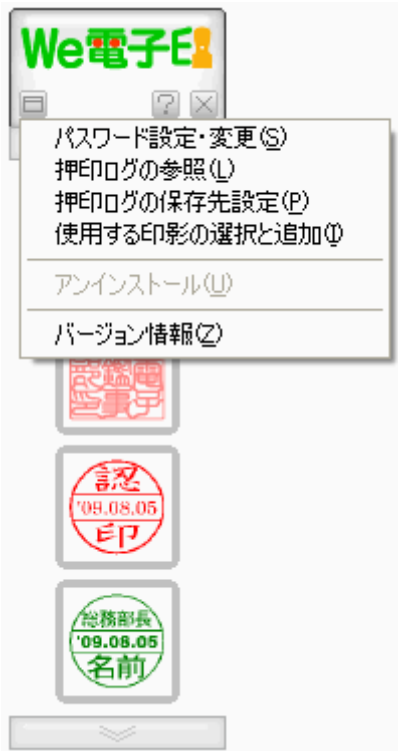
### 【ご注意】

※クリップボード経由で貼り付けた印影は、OLE オブジェクトではないため、押印情報は記録されていません。

※セキュリティのため、クリップボードコピーの操作は5回までしか行えません。

(ドラッグアンドドロップによる貼り付けと合わせて5回)

## メニューを開く



パスワードを設定・解除する

押印記録(ログ)を参照する

押印記録(ログ)の保存先を変更する

使用する印影の設定(あまり使わない印影を隠す)と追加

アンインストールする

バージョン情報を見る

## パスワードを設定・解除する

メニューを開いて、「パスワードの設定・変更」を選びます。  
ここで、下記の各項目を順に入力します。

### ・シリアル番号

販売元から通知された番号を入力して下さい。

### ・旧パスワード

まだパスワードが設定されていない場合には空欄のまま構いません。パスワードを変更または解除する場合には、現在の(変更前の)パスワードを入力してください。

### ・新パスワード

設定するパスワード、あるいは新しいパスワードを入力します。  
すでにパスワード設定されている場合にここを空欄とすると、パスワード・ロックが解除されます。

### ・新パスワード(再)

新パスワードに入力したものと同一内容を間違いなく入力して下さい。

※記入もれやパスワード違いが3度発生すると、この操作をキャンセルします。

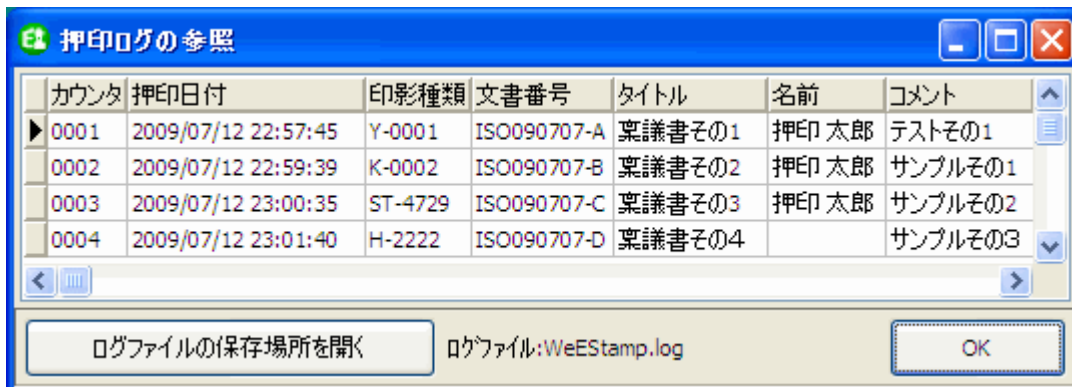
ここで、新たにパスワードが設定されると、次回起動時に、シリアル番号とパスワードの入力を促されます。  
正しいものが入力されないと起動することができません。

※パスワードを忘れてしまった場合には、アンインストールを実施するか、販売元にご連絡下さい。

## 押印記録(ログ)を参照する

メニューを開きます。

ここで、「押印ログの参照」を選びます。



ここで、これまでにドキュメントに押印された記録が参照できます。

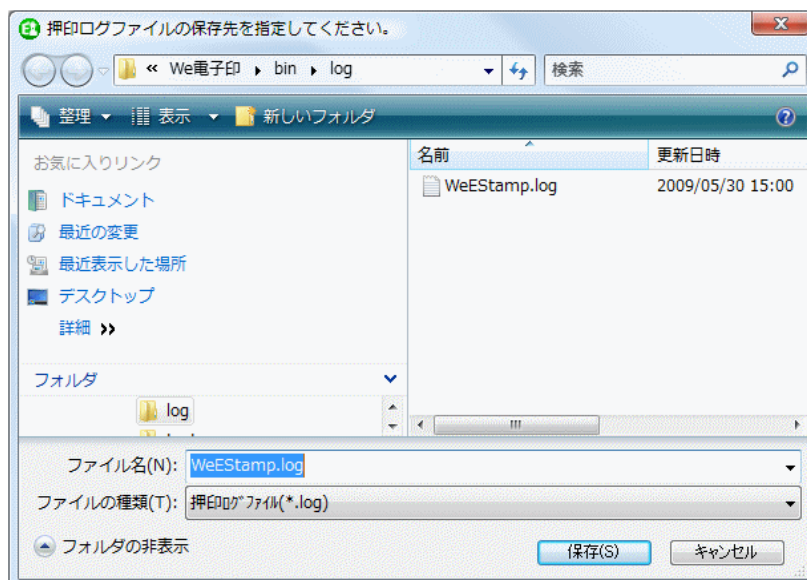
なお、このファイルがある場所を確認する場合には、「押印ログの保存先を変更する」をご参照ください。

★カウンタは、10000 件で 0001 に返りますので、記録の保管が必要な場合はコピーをして管理して下さい。

## 押印ログの保存先を変更する

メニューを開きます。

ここで、「押印ログの保存先設定」を選びます。



ここで表示されているファイルが、現在ログを保存しているファイルになります。

新しい場所を指定し、新しいファイル名を入力すると、別のファイルを設定することができます。

※ネットワーク上の複数のパソコンで使用しており、ログを共有したい場合には、ここでネットワーク上のファイルを指定して下さい。既に存在するファイルを指定した際に、上書きするかどうかの確認がなされますが、上書きするとしてください。この場合でも既存のログファイルがクリアされてしまうことはありません。

## 使用する印影の設定(あまり使わない印影を隠す)

メニューを開きます。

ここで、「使用する印影の設定」を選びます。



ここでは、左側に現在使用(表示)されている印影、右側に使用(表示)していない印影が表示されています。

いずれかの印影をクリックして選択してから、「使用しない」「使用する」ボタンを使って、使用、非使用の印影を設定してください。

※アンインストールすると、この設定はクリアされます。

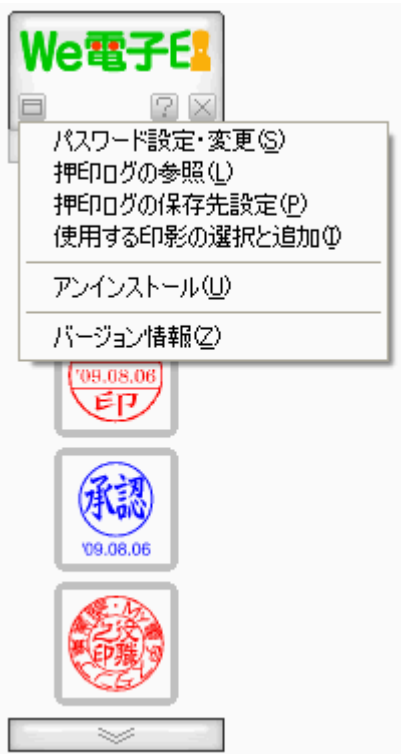
※押印できる印影表示は、直前に使用した印影が上部に表示されますので使用頻度の高いものは、常に上部に表示されるようになります。

## アンインストールする

アンインストールは、クイック起動から起動した場合には実行できません。

販売元から提供された CD-ROM,USB メモリなどをパソコンにセットし、起動した We 電子印からアンインストールを実行して頂く必要があります。

なお、クイック起動から起動した場合にはこのメニューは無効になっています。



メニューを開きます。

ここで、「アンインストール」を選ぶと、アンインストールの確認画面が表示された後に、アンインストールが実行されます。

アンインストールによって、下記の情報やファイルがパソコンから削除されます。これによって、完全に We 電子印をご使用する前の状態に戻ります。

### 【アンインストールによって削除されるもの】

- ・販売元から提供された CD-ROM,USB メモリに格納されていたファイルのコピー
- ・クイック起動にあるアイコン
- ・押印ログファイル(これは、複製をデスクトップにコピーして保管したり、削除ないようにすることもできます)
- ・レジストリの各種エントリ(入力された押印証明情報や印影の設定)

## バージョン情報を見る

We 電子印のバージョン情報を見ることができます。



ここで、アドレスをクリックすると、インターネット・ブラウザが起動し、We 電子印の公式サイトが表示されます。

## 印影の証明情報を参照する

ドキュメントに押印された印影の証明情報は、下記の条件が揃うパソコンであれば、内容を参照することができます。

1. We 電子印が起動したことがある(インストールがなされている)
2. 販売元から、組織内あるいはシステム内として付与されたシリアル番号である

ワードなどに貼り付けられた We 電子印の印影をダブルクリックすると、下記のような画面が表示されます。但し、上記の条件の2に当てはまらない場合には、表示はなされません。



**We 電子印**  
押印ツール操作マニュアル

2009/8 発行

発行者 SUNSALE Inc.

We 電子印についての情報

<http://www.denshiin.com/>